

パーツの組み合わせで  
自由設置可能！  
システム止水シート

ファスナー接続



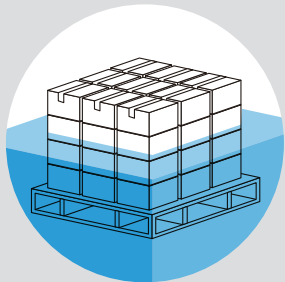
GENTI サンラップ

# SANWRAP

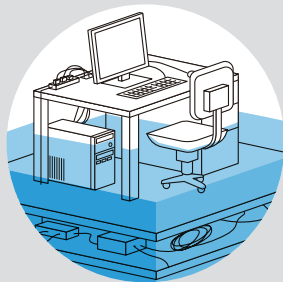
カタログ

様々な建物の形状に合わせて設置  
水害・浸水被害から大切な資産を守る！

事前の備え  
BCP対策！



倉庫内の備品や商品を  
浸水から守りたい



オフィスのパソコンや  
書類などを濡らしたくない

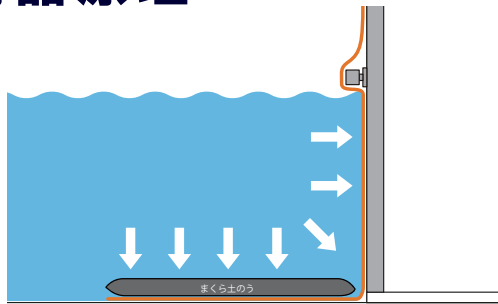


浸水後泥水の後始末に  
苦勞したくない

## 活用施設

- オフィス・事務所
- 資材置き場
- 車庫・倉庫
- 病院・介護施設
- 学校
- 図書館、美術館
- 飲食店、店舗

## 商品原理



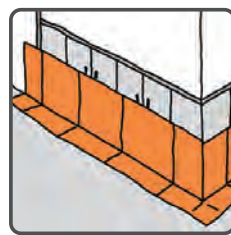
水の自重及び水圧によって地面と構造物に固定され密着します。  
シート先端部に重り(まくら土のう)を設置することで、シートは固定され浸水を止めます。

## 6つの特徴



### 止水高自由設置

設置時、止水高100mm～最大2,000mmまで自由に調節できます。  
※中水位シリーズ(100mm～700mm)と高水位シリーズ(700mm～2,000mm)があります。



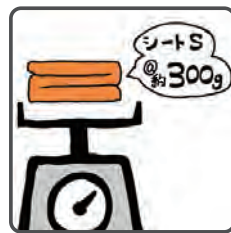
### 止水幅自由設置

それぞれのパーツをファスナーでつなぐだけで、建物に合わせた形の設置が可能です。



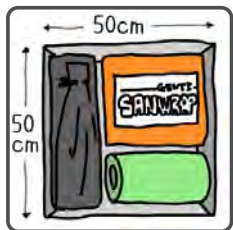
### 少人数で設置可能

シートを壁面に養生テープで貼り付けていだけで設置できます。しかも、水害発生に備えて、事前に大半の設置作業を完了させることができます。



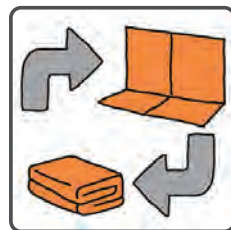
### 軽量シート

オフィス扉等への施工の場合、D2400(520g)の重量となります。



### コンパクト収納

シート、まくら土のう、養生テープをコンパクトに収納できます。

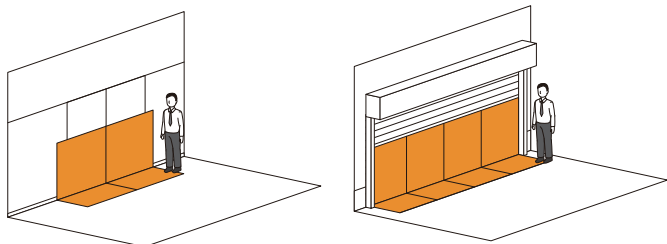


### 繰返し使用可能

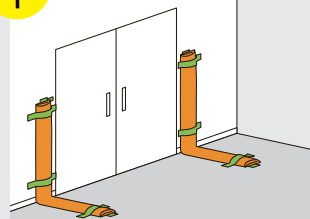
使用后、十分に乾かしてから折りたたんで保管することにより、繰返しご使用いただけます。

## 設置例

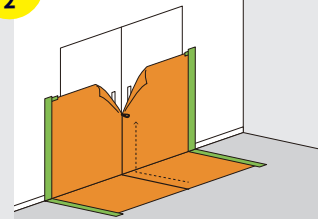
- オフィスなどの扉
- 倉庫などのシャッター



STEP 1 事前準備



STEP 2 本設置



事前準備までしておけば、あとはファスナーを締め、上下テープ止めのみで設置完了!

土のうなどの従来品は出入口を塞ぐため、出入りや業務の妨げになります。当商品は両サイドに折りたたむことができるため、邪魔になりません。

オプション シート固定用

UV  
カット  
加工

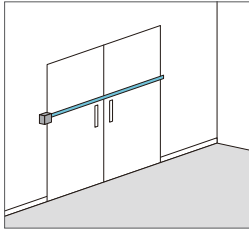
耐久性に優れた  
まくら土のう袋



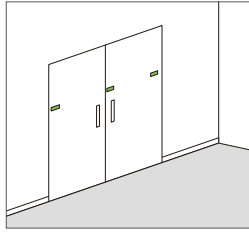
# 設置方法 開口扉への設置

※上下にご注意ください。  
シートのファスナーは下から上に閉めます。

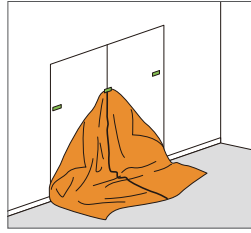
## STEP1：事前準備



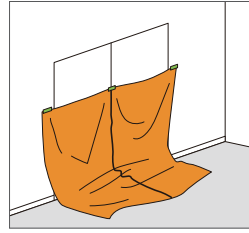
1 開口部の幅をはかり、シートが開口部より長いことを確認します。



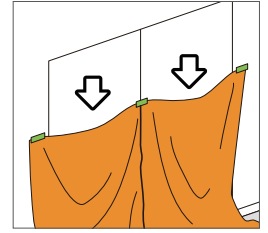
2 止水高を決め、扉に養生テープなどで印をつけます。  
※シートの床面長を50cm以上にします。



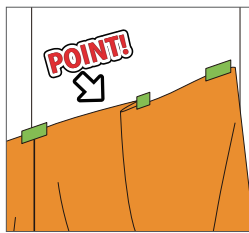
3 シートを繋ぎ合わせた状態で、ドアの中心部を養生テープで仮止めます。



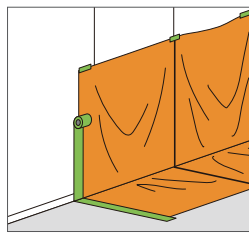
4 左右両端を仮止めします。



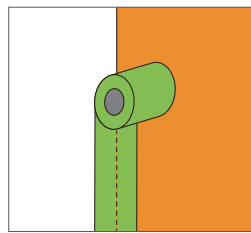
5 扉に取っ手やドアノブが付いている際は、シートが扉に密着するようたるみを持たせて仮止めします。



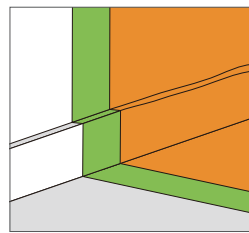
6 余ったシートは、たるませる、もしくは折り込みます。



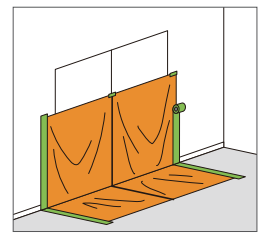
7 下部分から養生テープで本止めをしていきます。この時地面に垂直になるようにします。



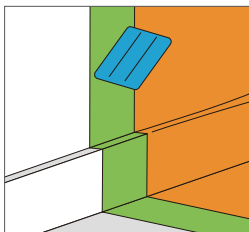
8 この時、建物接触部分と SANWRAP の境目が養生テープの真ん中にくるようにします。



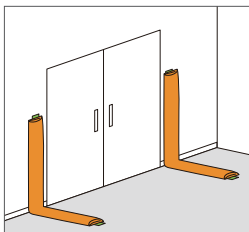
9 扉下部分に段差がある場合、隙間が空かないようしっかりと密着させます。



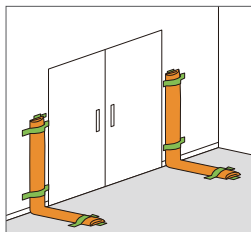
10 反対側も本止めを行います。



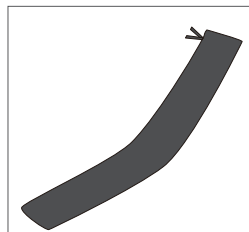
11 ヘラなどで養生テープを扉に密着させます。



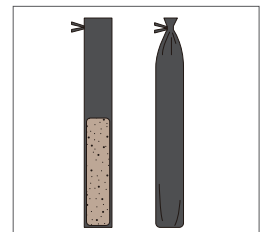
12 台風対策などで前日から設置する場合、ファスナーを開き、縦長にシートを畳んで仮止めを行います。



13 上下と直角部分に仮止めを行います。

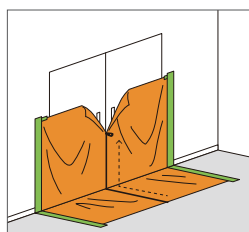


14 土のうを準備します。

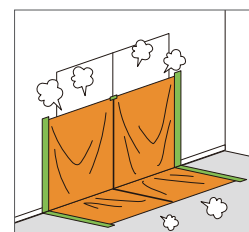


15 砂を土のう袋の半分まで入れ、口を閉じます。

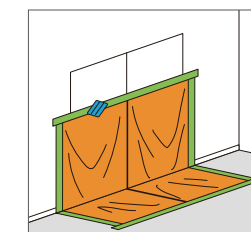
## STEP2：本設置



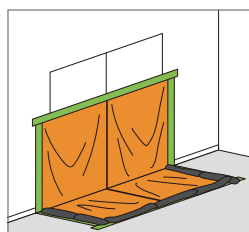
16 設置するタイミングになりましたら、仮止めに外してファスナーを閉めます。



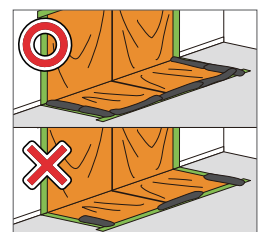
17 シートと扉、シートと地面が密着するよう空気抜きをします。



18 シートの上部と下部に養生テープを貼り、ヘラなどで密着させます。



19 シートと地面に隙間ができないよう、土のうを設置します。

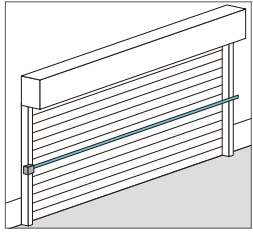


20 土のうは、シートの端が浮かないようにコの字に、隙間なく設置します。  
※部分置きはNGです。

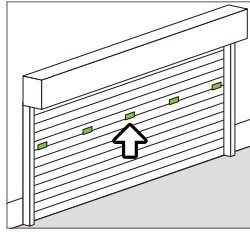


# 設置方法 シャッターへの設置

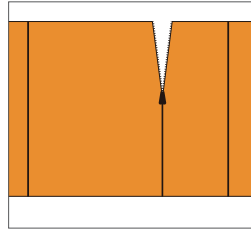
※上下にご注意ください。  
シートのファスナーは下から上に閉めます。



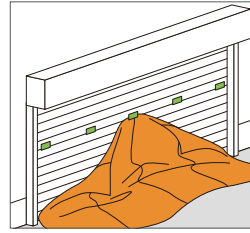
**1**  
シャッターの横幅をはかり、シートの横幅合計がシャッター横幅より長いことを確認します。



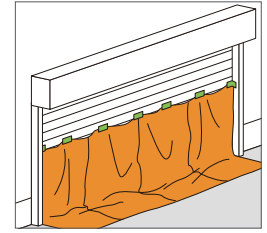
**2**  
止水高を決め、シャッターに養生テープなどで印をつけます。  
※シートの床面長を50cm以上にします。



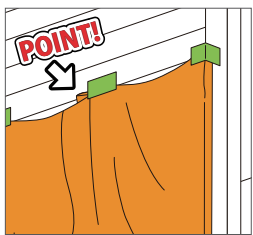
**3**  
必要分のシートを繋ぎ合わせます。



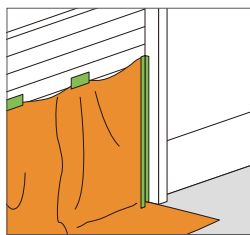
**4**  
シートの中心とシャッターの中心を合わせ、仮止めします。



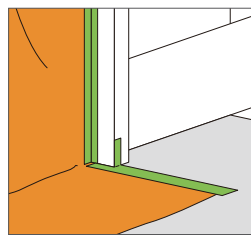
**5**  
真ん中から両端へ順に仮止めを行います。その際、シートがシャッターに密着するように余裕を持たせます。



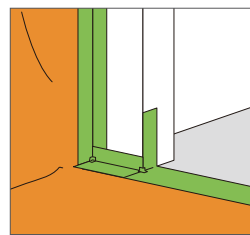
**6**  
POINT!  
余ったシートはたるませる、もしくは折り込みます。



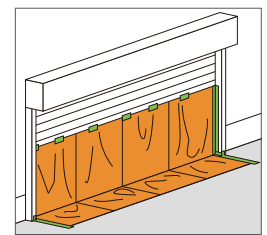
**7**  
本止めを行います。建物とシートを養生テープでしっかり貼ります。



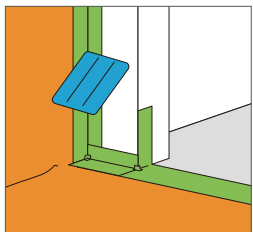
**8**  
地面との接触部分に養生テープを貼ります。



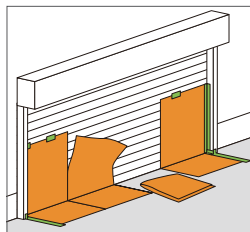
**9**  
シャッター脇が複雑な形状の場合は、テープを半分に割くなどし、隙間の無いようにします。



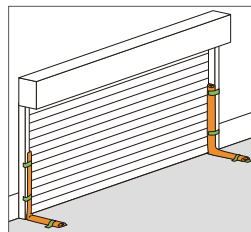
**10**  
反対側も同様に本止めを行います。



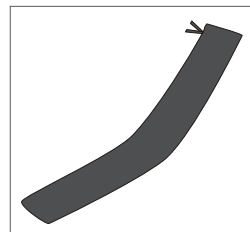
**11**  
ヘラなどで養生テープを密着させます。



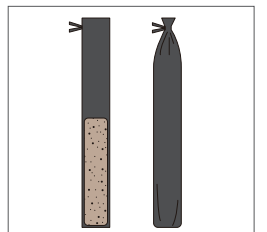
**12**  
台風対策などで前日から設置する場合、両端のシートを残してファスナーを外します。



**13**  
縦長にシートを折りたたんで仮止めを行います。

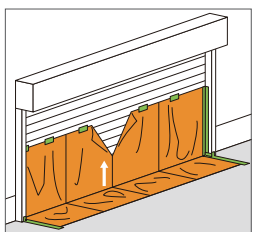


**14**  
土のうを準備します。

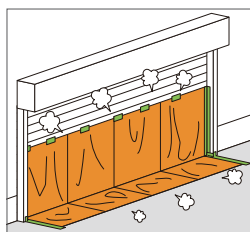


**15**  
砂を土のう袋の半分まで入れます。

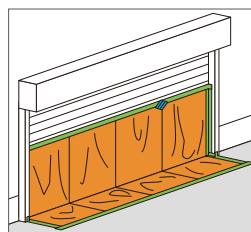
## STEP2：本設置



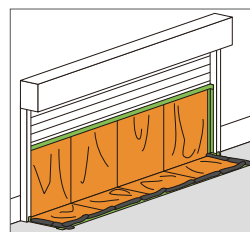
**16**  
ファスナーを繋げ、上部分の仮止めを行います。



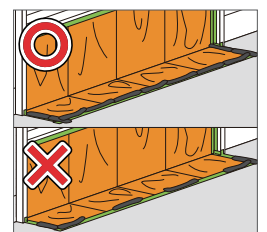
**17**  
シートと扉、シートと地面が密着するように空気を抜きます。



**18**  
シートの上部和下部に養生テープを貼り、ヘラなどで密着させます。



**19**  
シートと地面に隙間ができないよう、土のうを設置します。



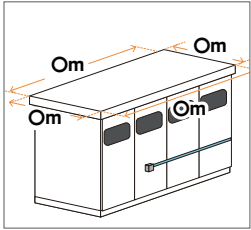
**20**  
土のうは、シートの端が浮かないようにコの字に、隙間なく設置します。  
※部分置きはNGです。



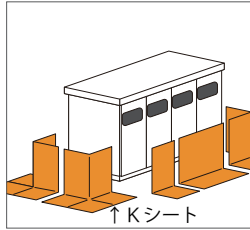
# 設置方法

# キュービクルへの設置

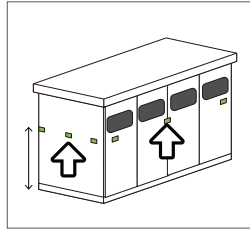
※上下にご注意ください。  
シートのファスナーは下から上に閉めます。



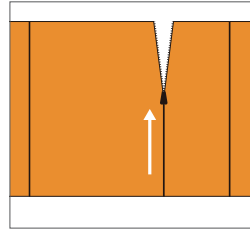
1 キュービクルの外周を測ります。各辺ごとに長さを測定します。



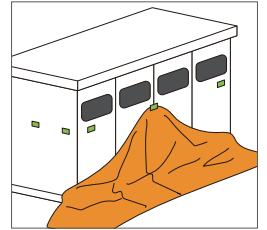
2 1辺ごとにシートの組み合わせを決めます。※シートが壁に密着するように余裕を持たせます。



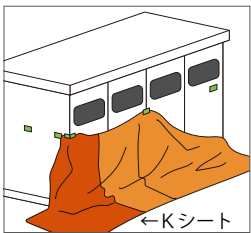
3 止水高を決め、養生テープなどで印をつけます。この時、各壁の中心にも印をつけます。※シートの床面長を50cm以上にします。



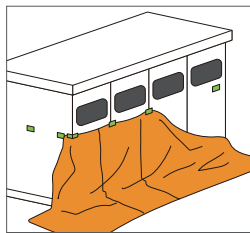
4 各壁ごとにシートを繋ぎ合わせます。



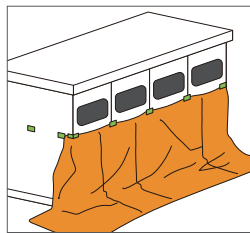
5 シートの中心と設置する壁の中心と止水高を合わせ、仮止めします。



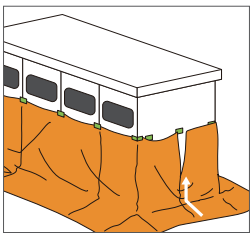
6 キュービクルの角とKシートを合わせ仮止めします。



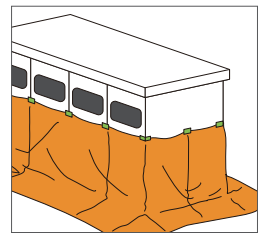
7 中央とKシートの間も必要な分仮止めをします。



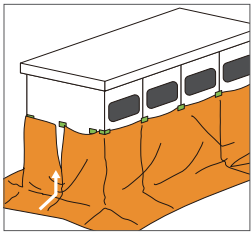
8 反対側も同様に行います。



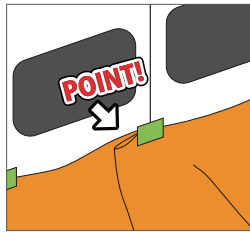
9 面に合わせてシートをファスナーで繋げます。



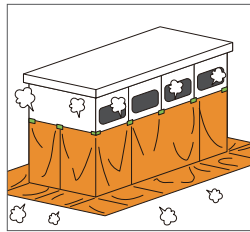
10 同様の手順で仮止めを行います。



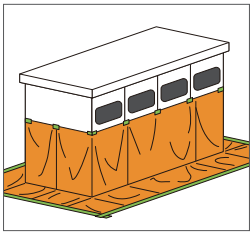
11 すべての壁に仮止めを行い、ファスナーを閉めます。



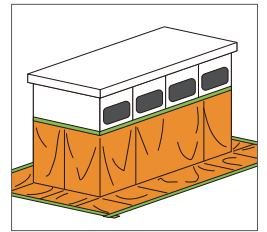
12 壁面にシートが密着するように空気を抜きます。



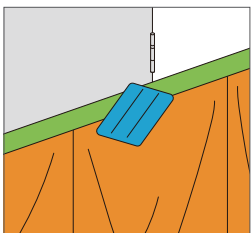
13 シートの下部に養生テープを貼ります。



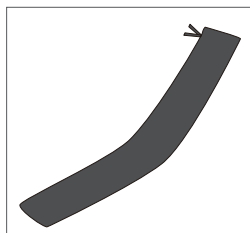
14 上部にも養生テープを貼ります。



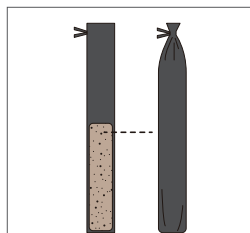
15 ヘラなどを使いテープを密着させます。



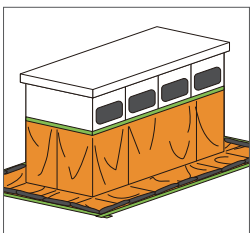
16 ヘラなどを使いテープを密着させます。



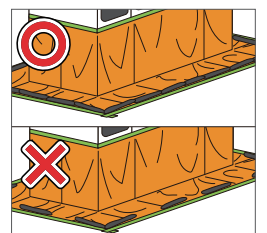
17 土のうを準備します。



18 砂をまくら土のう袋の半分まで入れ、口を閉じます。



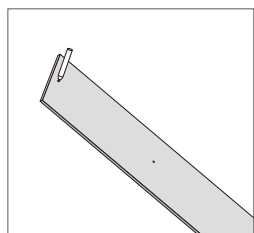
19 シートと地面に隙間ができないよう、土のうを設置します。



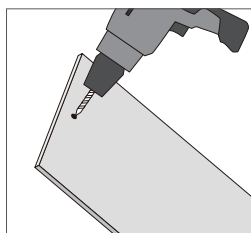
20 土のうは、シートの端が浮かないように隙間なく設置します。※部分置きはNGです。

# SUS プレートの取付方法

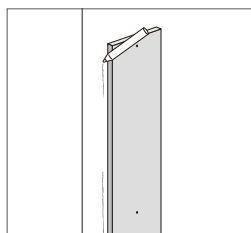
※3点ビス留めを想定した取付方法です。



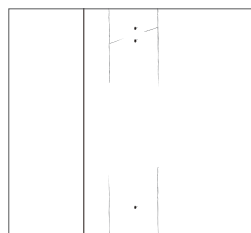
**1**  
SUS プレートにビス用の穴の印をつけます。3点、直径 5 mmの穴を想定します。



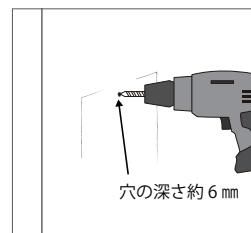
**2**  
電動ドリルなどで SUS プレートに穴を開けます。



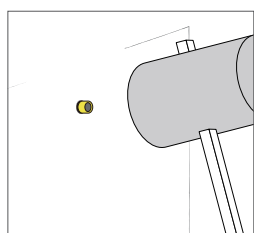
**3**  
設置用の壁面に罫書きを行います。



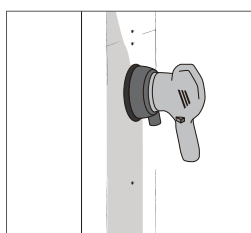
**4**  
プレート外周と穴の位置が分かるように書きます。



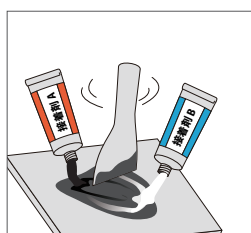
**5**  
ビス留め用の下穴を開けます。(6 mm)



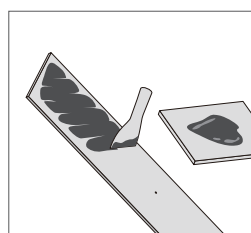
**6**  
プラグを打ち込みます。



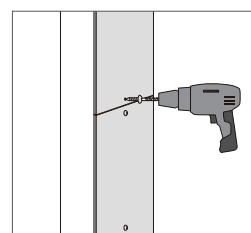
**7**  
プレートを設置する部分を平らに削ります。



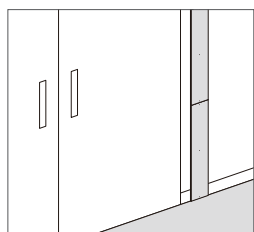
**8**  
コンクリート用接着剤を使用。壁面凹凸がある場合はシリコン接着剤を使用して隙間を埋めます。



**9**  
SUS プレート裏面に接着剤を塗布します。



**10**  
壁面に接着し、板をビスで留めます。ビス径は 4 mmです。



**11**  
プレートは下から順番に取り付けていきます。必要な枚数を取り付けます。

## 商品名：SANWRAP（サンラップ）

※全シリーズ シート誤差 ±20 mm 素材：ナイロン（厚み約 0.1 mm）

シリーズ	品番	用途	重量	仕様
高水位シリーズ (止水高 700 mm～ 2,000 mm)	D2400	開口扉専用	520 g	横幅 1,200 mm × 縦 2,300 mm × 2 枚
	D1200	開口扉専用	300 g	横幅 600 mm × 縦 2,300 mm × 2 枚
	W	延長用	520 g	横幅 2,400 mm × 縦 2,300 mm
	S	延長用	300 g	横幅 1,200 mm × 縦 2,300 mm
	K	コーナー用	620 g	横幅 2,400 mm × 縦 2,300 mm
中水位シリーズ (止水高 100 mm～ 700 mm)	D2400S	開口扉専用	280 g	横幅 1,200 mm × 縦 1,200 mm × 2 枚
	D1200S	開口扉専用	160 g	横幅 600 mm × 縦 1,200 mm × 2 枚
	WS	延長用	280 g	横幅 2,400 mm × 縦 1,200 mm
	SS	延長用	180 g	横幅 1,200 mm × 縦 1,200 mm

## オプション

品名	用途	重量	仕様
まくら土のう袋	シート固定用	46 g	150 mm × 1,200 mm UV カット加工
養生テープ	シート固定用	620 g	150 mm × 25m
304 SUS プレート	壁面養生用	380 g	100 mm × 500 mm

### ⚠ 注意事項

- ・カタログ中の表示寸法は、実物と多少異なる場合があります。
- ・サンラップはナイロン素材を使用しております。直射日光が当たらない場所へ保管してください。
- ・保管の際、防虫剤は使用しないでください。防虫剤に含まれる酸化防止剤が黄ばみの原因となる場合があります。
- ・アイロンや乾燥機の使用は避けてください。変形の原因となる場合があります。

### 免責事項

- ※設置予定箇所の足場が砂利などの場合、SANWRAP の設置はできません。
- ※SANWRAP は大雨や洪水時の浸水を完全に防ぐものではありません。
- ※SANWRAP の効果は永久的に継続するものではありません。使用状況や環境・条件で異なりますので個々の責任においてご利用ください。



サンリョウ株式会社  
*Sanryou*

<https://33ryou.com/>



**059-332-3522**



[info@33ryou.com](mailto:info@33ryou.com)

**SANWRAP(サンラップ) 商品サイトはコチラ!**



【本 社】〒510-0815 三重県四日市市野田1丁目8番38号  
【東京営業所】〒125-0052 東京都葛飾区柴又 6丁目31-6  
【名古屋営業所】〒464-0075 愛知県名古屋市千種区内山3丁目10-17